

令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業の事前評価結果

目 次

(1) 評価の種類とその内容及び点数	1
(2) 事前評価における評価視点毎の評価点及び評価別事業数	1
(3) 事業別事前評価の集計結果一覧	2
(4) みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業の 対策区分別事前評価集計結果	3
(5) 市町別総合評価の事前評価集計結果	9

1. 令和元年度みえ森と緑の県民税 事前評価の集計結果

(1) 評価の種類とその内容及び点数

評価委員の評価と内容

内 容	評価
取組が特に優れている	4
取組が妥当である	3
取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	2
現状の取組に 改善が必要である	1

評価委員会の評価と内容

平均値による 評価基準		内 容
$3.5 \leq X \leq 4.0$	A	取組が特に優れている
$2.9 \leq X < 3.5$	B	取組が妥当である
$1.9 \leq X < 2.9$	C	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である
$1.0 \leq X < 1.9$	D	現状の取組に改善が必要である

判定の集計方法

1. 10名の委員の判定（点数）を合計し、平均値をとります。
2. 平均値（右上表）により、判定（A～D）を決定します。

(2) 事前評価における評価視点毎の評価点及び評価別事業数

評価	評価点 (点)	事業数（事業）			
		有効性	効率性	公益性	情報発信度
A	3.8				
	3.7	3			
	3.6	4			
	3.5	2		1	
	A評価計	9	0	1	0
B	3.4	15	1	1	2
	3.3	17	1	12	3
	3.2	26	14	27	4
	3.1	30	37	45	10
	3.0	10	29	16	20
	2.9	3	21	7	27
	B評価計	101	103	108	66
C	2.8		5	1	13
	2.7		1		16
	2.6		1		12
	2.5				2
	2.4				1
	2.3				
	C評価計	0	7	1	44
事業数計		110	110	110	110

(3) 事業別事前評価の集計結果一覧

事業名		有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	みえ森と緑の県民税基金積立事業	3.1	B	3.1	B	3.1	B	2.9	B
2-1	災害緩衝林整備事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	2.8	C
2-2	土砂・流木緊急除去事業	3.4	B	3.1	B	3.2	B	2.9	B
3	森林情報基盤整備事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	2.7	C
4-1	森を育む人づくり サポート体制事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.1	B
4-2	森林環境教育・木育拠点整備事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	2.8	C
4-3	森里川海つながり推進事業	3.1	B	3.1	B	3.1	B	2.7	C
4-4	森林とふれあう 自然公園環境整備事業	3.3	B	3.2	B	3.3	B	2.8	C
4-5	みえ子ども森林・林業アカデミー 自然体験事業	3.6	A	3.1	B	3.4	B	3.1	B
5-1	流域防災機能強化対策事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B
5-2	森林再生力強化対策事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B
6	みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業	3.2	B	3.0	B	3.1	B	2.8	C
7	みえ森と緑の県民税制度運営事業	3.1	B	3.1	B	3.1	B	2.8	C

(4) 令和元年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業対策区分別事前評価の集計結果

みえ森と緑の県民税 対策区分 1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
大台町	災害に強い森林づくり整備事業	3.2	B	3.0	B	3.3	B	2.9	B
度会町	流倒木撤去事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.0	B
大紀町	溪流倒木等処理事業	3.3	B	2.8	C	3.2	B	2.7	C

みえ森と緑の県民税 対策区分 2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	里山・竹林環境保全支援事業	3.3	B	3.1	B	3.0	B	2.9	B
四日市市	危険木等除去支援事業	3.2	B	3.0	B	2.9	B	2.7	C
四日市市	学校林整備事業	3.1	B	2.9	B	3.1	B	2.9	B
桑名市	里山再生・竹林整備推進事業	3.1	B	2.9	B	3.3	B	2.9	B
鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	3.3	B	3.0	B	3.2	B	3.0	B
鈴鹿市	緑の未来づくり事業	3.0	B	3.0	B	2.9	B	2.9	B
亀山市	暮らしに身近な 里山・竹林環境整備事業	3.1	B	3.1	B	3.0	B	3.1	B
亀山市	集落周辺の森林整備事業 (危険木等伐採)	3.2	B	3.0	B	3.1	B	2.6	C
いなべ市	危険木の除去事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	2.6	C
東員町	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (危険木伐倒等業務)	3.1	B	3.0	B	3.1	B	3.1	B
菰野町	病虫害被害木伐採搬出事業	3.0	B	2.9	B	3.1	B	3.1	B
津市	林地残材搬出促進事業	3.4	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C
松阪市	里山の森林安全安心対策事業	3.3	B	3.0	B	3.2	B	2.7	C
明和町	松林整備事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.9	B

みえ森と緑の県民税 対策区分 2：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
大台町	ほっとする道ばた森林整備事業	3.4	B	2.9	B	3.1	B	2.9	B
伊勢市	森林整備事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.7	C
鳥羽市	危険木伐採事業	3.1	B	2.9	B	3.0	B	2.6	C
志摩市	里海・里山保全事業	3.1	B	3.1	B	3.1	B	2.9	B
度会町	危険木伐採事業	3.2	B	2.9	B	3.1	B	3.0	B
大紀町	生活環境林整備事業	3.3	B	2.9	B	3.1	B	2.7	C
南伊勢町	危険木除去事業	3.4	B	2.9	B	3.1	B	2.6	C
名張市	危険木伐採事業	3.2	B	2.9	B	3.2	B	3.0	B
名張市	未利用間伐材 バイオマス利用推進事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.0	B
名張市	人家裏危険木伐採事業	3.2	B	2.9	B	3.2	B	3.0	B
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	3.5	A	3.2	B	3.5	A	3.0	B
伊賀市	未利用間伐材 バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.2	B	3.3	B	3.0	B
尾鷲市	学校危険木除去事業	3.4	B	3.2	B	3.3	B	2.9	B
尾鷲市	人家裏危険木伐採事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	3.0	B
紀北町	危険木伐採事業	3.1	B	3.1	B	3.2	B	2.4	C
紀北町	集落周辺森林（里山）整備事業	3.4	B	3.0	B	3.2	B	2.5	C
熊野市	身近なみどり整備推進事業	3.0	B	3.0	B	3.1	B	2.9	B
熊野市	暮らしを守る危険木伐採事業	3.1	B	3.1	B	3.1	B	2.9	B
熊野市	森林病虫害等防除実施事業	3.1	B	3.0	B	3.0	B	2.9	B
御浜町	暮らしを守る危険木伐採事業	3.1	B	2.9	B	3.1	B	2.7	C
紀宝町	生活環境林整備事業	3.1	B	3.0	B	3.1	B	2.8	C

みえ森と緑の県民税 対策区分 3：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
鈴鹿市	森に親しむ記念樹贈呈事業	3.2	B	3.1	B	3.0	B	2.8	C
鈴鹿市	森と緑の生涯学習講座	3.6	A	3.2	B	3.3	B	3.0	B
亀山市	森と木材のふれあい事業 (森の講座)	3.0	B	2.7	C	2.9	B	2.9	B
亀山市	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)	3.4	B	3.1	B	3.1	B	3.2	B
いなべ市	中学校卒業記念品配布事業	3.6	A	3.1	B	3.1	B	2.9	B
木曽岬町	森林環境教育事業	3.0	B	3.1	B	3.0	B	2.7	C
川越町	川越中学校自然教室	3.1	B	2.9	B	3.1	B	2.9	B
川越町	川越北小学校自然教室	3.1	B	2.9	B	3.1	B	2.9	B
川越町	川越南小学校自然教室	3.1	B	3.0	B	3.1	B	2.9	B
津市	津市森林環境教育事業	3.4	B	3.1	B	3.1	B	3.2	B
津市	美里水源の森「林業体験」事業	3.1	B	3.1	B	3.1	B	3.1	B
松阪市	森林環境学習事業	3.7	A	3.1	B	3.3	B	3.3	B
志摩市	里山体験事業	3.3	B	3.1	B	3.1	B	3.1	B
玉城町	森林環境教育・木育事業	3.0	B	3.1	B	3.1	B	2.7	C
度会町	森林環境教育推進事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	3.1	B
南伊勢町	森林環境教育事業	3.1	B	3.0	B	3.1	B	2.6	C
名張市	森林環境教育推進事業	3.3	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
名張市	みて・さわって・ 森のわくわく体験事業	3.2	B	2.9	B	3.3	B	3.0	B
伊賀市	親子ではじめる木育推進事業	3.5	A	3.1	B	3.3	B	3.3	B
伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	3.4	B	3.1	B	3.3	B	3.3	B
伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	3.4	B	3.3	B	3.2	B	3.1	B
伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業 (伊賀の木活用人材育成)	3.6	A	3.4	B	3.2	B	3.2	B
尾鷲市	クラブ普及推進事業	3.2	B	2.9	B	2.9	B	2.9	B
紀北町	県民植樹活動事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	3.4	B
紀宝町	森と緑の環境教育事業	3.4	B	3.1	B	3.2	B	3.0	B

みえ森と緑の県民税 対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	市民活動センター運営事業	3.1	B	3.0	B	3.0	B	2.6	C
四日市市	子育て支援センター管理運営事業	3.1	B	2.9	B	3.0	B	2.7	C
四日市市	認定こども園備品整備事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.9	B
四日市市	少年自然の家管理運営事業	3.1	B	3.1	B	3.0	B	2.6	C
四日市市	四日市市中央緑地新体育館建設事業	3.1	B	2.9	B	3.1	B	2.6	C
桑名市	病院備品等整備事業	3.4	B	3.0	B	3.3	B	3.0	B
鈴鹿市	AGF鈴鹿体育館 サブアリーナ床面改修工事	3.2	B	3.0	B	3.1	B	2.8	C
鈴鹿市	森林環境に関する講演事業及び 木製備品購入事業	3.3	B	2.6	C	3.2	B	2.8	C
鈴鹿市	鈴鹿市立西条保育所新設工事	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.8	C
亀山市	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)	3.4	B	3.1	B	3.1	B	3.2	B
朝日町	森と緑を大切に思う人づくり事業	3.1	B	2.9	B	3.1	B	2.8	C
川越町	川越中学校美術室・技術室 机・椅子整備事業	3.1	B	2.9	B	3.1	B	2.9	B
川越町	ふれあい広場ベンチ整備事業	3.0	B	3.0	B	2.8	C	2.5	C
松阪市	都市公園整備事業	3.1	B	3.0	B	3.1	B	2.9	B
多気町	県産材を活用した 木製備品整備事業	3.2	B	3.0	B	3.0	B	2.6	C
明和町	学校等木製備品購入事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	2.9	B
志摩市	中学校木製備品整備事業	3.1	B	3.1	B	3.2	B	2.7	C
玉城町	公共施設（学び場）整備事業	3.3	B	3.0	B	3.2	B	2.6	C
名張市	学校林整備事業	3.7	A	3.0	B	3.2	B	3.0	B
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	3.7	A	3.2	B	3.3	B	3.4	B
尾鷲市	木とふれあう木育活動推進事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
御浜町	学校施設木質化事業	3.1	B	3.0	B	3.1	B	2.7	C

みえ森と緑の県民税 対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
桑名市	播磨2号緑地里山整備事業	3.1	B	2.8	C	2.9	B	2.6	C
菰野町	菰野富士 ふるさとの山環境整備事業	3.2	B	2.8	C	3.0	B	2.8	C
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼 保一体化施設、ふれあいパーク）	2.9	B	2.9	B	3.0	B	3.1	B
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業 （ふれあいパーク）	2.9	B	3.1	B	3.0	B	2.7	C
川越町	川越北小学校 シンボルツリー樹形整形事業	3.0	B	2.8	C	2.9	B	3.0	B
玉城町	森林ふれあい創出事業	2.9	B	2.9	B	2.9	B	2.7	C
南伊勢町	阿曾浦公園 ウッドチップ舗装整備事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.6	C
名張市	森林公園等環境活用整備事業	3.2	B	3.0	B	3.1	B	3.0	B
名張市	桜並木保全管理事業	3.0	B	2.8	C	3.1	B	3.0	B
尾鷲市	中村山公園整備事業	3.3	B	3.1	B	3.0	B	3.0	B
熊野市	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.1	B	3.0	B	3.1	B	2.9	B
御浜町	森林公園等環境整備事業	3.0	B	3.1	B	3.1	B	2.7	C
紀宝町	クマノザクラ整備事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.8	C

(5) 市町評価別総合評価の事前評価集計結果

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

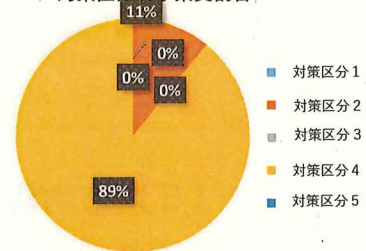
市町名	四日市市	三重県
人口（人）	309,923	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.6%	12.4%
森林面積(ha)	2,865.41	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	2,557.33	348,833.49
森林率(%)	14.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.1	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	4	市民活動センター運営事業	1,592,800	1,592,800				1,592,800		1,592,800
2	4	子育て支援センター管理運営事業	731,160	731,160				731,160		731,160
3	4	少年自然の家管理運営事業	4,307,600	4,307,600				4,307,600		4,307,600
4	4	認定こども園備品整備事業	6,131,400	6,131,400				6,131,400		6,131,400
5	2	学校林整備事業	5,018,200	4,815,000		4,815,000				4,815,000
6	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,421,000	1,421,000		1,421,000				1,421,000
7	2	危険木等除去支援事業	200,000	200,000		200,000				200,000
8	4	四日市市中央緑地新体育館建設事業	52,576,560	40,569,857				40,569,857		0
9	4	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業（認定こども園備品整備事業）	6,710,040	0						6,710,040
計			78,688,760	59,768,817	0	6,436,000	0	53,332,817	0	25,909,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	市内には整備が行き届いていない森林が多く、それらの整備や保全活動を行う団体を支援することによって、森林の保全と生活の安全性の確保を図る。 こども園や市民活動センターなど、多くの市民が利用する施設に木製備品を導入することによって、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供し、森と市民との関係を深める。
事業実施により得られた効果	森林整備や危険木除去を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保されたとともに、整備された場所は子供の遊び場としても利用され、子供が森林にふれあう場を作ることができた。 木製備品を導入したことにより、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るため、ホームページへの掲載と、導入した木製備品へのシール等の貼り付けを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

・木製品による備品整備事業について、マークやシールを貼付だけでなく、より多くの情報を、より多くの方に発信できる方法の検討を望みます。

・必要な事業を実施していると思う。県産材木製品導入の際には、ぜひ学習活動にもつなげてほしい。

・県産材を活用しての備品の導入事業（1～4）や施設の木質化の事業（中央緑地新体育館）などをまとめて、森と緑の県民税を活かした整備として、広報誌やCATVなどでPRするなど、周知に努めてほしい。

・多様な施設に県産材備品の導入はさらに展開していただくとよい。

一方で、市民に県民税を活用しての実施や三重県の森林環境についての情報提供をする領域に、もう少し工夫があるとよい。

・少年自然の家管理運営事業では、本事業のロゴマークの表示も活用してほしい。

・周知手段として、四日市市の発行する広報誌の記事等での周知、地域自治会との連携、受益者負担の考えは良いと思う。

・各事業において積算資料（実績報告参考資料）を添付する方がよい。

・県産材利用、学校林整備、暮らしに身近な森づくりなどバランスのとれた事業構成になっているが、県下で一番都市化されている地域であり人口も多いので、小中学生などへの森林環境教育にも力を入れて欲しい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市民活動センター運営事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.6	C
2	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	子育て支援センター管理運営事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.7	C
3	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	少年自然の家管理運営事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.6	C
4	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	認定こども園備品整備事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
5	2. 暮らしに身近な森林づくり	学校林整備事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
6	2. 暮らしに身近な森林づくり	里山・竹林環境保全支援事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.9	B
7	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木等除去支援事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.0	B
			公益性	2.9	B
			情報発信度	2.7	C
8	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	四日市市中央緑地新体育館建築事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.6	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

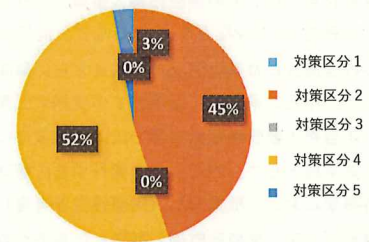
市町名	桑名市	三重県
人口（人）	139,550	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	13.4%	12.4%
森林面積(ha)	3,022.60	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	2,933.93	348,833.49
森林率(%)	22.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	430,000	430,000					430,000	430,000
2	2	里山再生・竹林整備推進事業	6,798,000	6,798,000		6,798,000				6,798,000
3	4	病院備品等整備事業	7,800,000	7,800,000				7,800,000		7,800,000
4										0
5										0
6										0
7										0
計			15,028,000	15,028,000	0	6,798,000	0	7,800,000	430,000	15,028,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	地域の森林環境整備や三重県産木材を使った製品を導入、及びそれら事業の原資となる県民税のPRを通じて、森と緑の県民税がどのように県民のくらしに役立てられているかを周知し、県民の理解が深まるよう事業を展開した。
事業実施により得られた効果	整備された里山や竹林、三重県産木材製品に触れることにより得られる癒しの効果を通して、人々の暮らしと森林環境との関わりに対する理解が深まった。
情報発信への取組	現場での看板設置や、病院での対象製品の県産材シール、ポスター配置、チラシ、広報誌による紹介など、事業活用の現場であること、県産材の活用であることを重点的にアピールし情報共有を推進した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・子供たちが木と触れ合う場において、保護者に向けたPRを強めていただければと思います。
- ・より多くの市民が関われるような事業の実施を期待します。
- ・今後、里山が持続的に適正に管理されることを期待したい。
- ・本取組を多くの市民に知っていただく工夫が今後の課題ではないでしょうか。整備したフィールドでの体験学習や行事を実施するなど、森林環境に興味がない市民も参加できるような取組を実施していただきたい。
- ・毎年竹林、里山の整備と大きな金額を病院備品に活用されている。
- ・病院備品について、数年前はかなり厳しい意見を出したが資料の作り方なども改善され、備品の良さがよく分かるようになった。
- ・桑名市も名古屋に近い都市部であり人口も多いので森林環境教育や病院以外の施設での県産材利用も進めて頂きたい

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	播磨2号緑地里山整備事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.8	C
			公益性	2.9	B
			情報発信度	2.6	C
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	里山再生・竹林整備推進事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	2.9	B
3	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	病院備品等整備事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.0	B

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

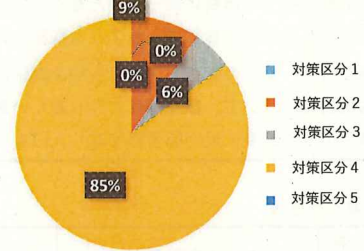
市町名	鈴鹿市	三重県
人口（人）	195,789	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.9%	12.4%
森林面積(ha)	3,584.17	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	3,408.37	348,833.49
森林率(%)	18.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.8	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	2	暮らしを守る森林保全事業	1,758,456	1,756,059		1,756,059				1,756,059
2	2	緑の未来づくり事業	37,000	37,000		37,000				37,000
3	3	森に親しむ記念樹贈呈事業	200,000	200,000			200,000			200,000
4	4	AGF鈴鹿体育館サブアリーナ 床面改修工事	19,482,120	10,000,000				10,000,000		10,000,000
5	4	森林環境に関する講演事業及 び木製備品購入事業	3,800,000	3,800,000				3,800,000		3,800,000
6	3	森と緑の生涯学習講座	844,941	844,941			844,941			844,941
7	4	鈴鹿市立西条保育所新設工事	31,647,116	2,200,000				2,200,000		2,200,000
計			57,769,633	18,838,000	0	1,793,059	1,044,941	16,000,000	0	18,838,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	みえ森と緑の県民税の使途については、本税の徴収方法を鑑みて、多くの市民の方ができる限り直接的にその恩恵を享受できる事業を重視し実施することとしたため、森林環境教育に関する事業や木育の機会を得るための施設整備事業を優先して実施した。 また、本市に広がった松くい虫被害の拡大防止に向けた取組についても、長期的・継続的な取組が必須であることから、市単独で実施するだけではなく、周辺住民や関係団体、学校等と協力し、実施することで継続的な取組となるよう工夫した。
事業実施により得られた効果	身近な森林資源である、地区保全区域内の鼓ヶ浦海岸周辺の松くい虫被害の拡大防止に取組み、市内の「災害に強い森林づくり」に寄与することができた。 また、県産材を活用した備品整備によって、未就学児や児童・生徒をはじめとする様々な市民の方が、森林や木材について学び、ふれあい、関係を深めることができた。また、木育活動も充実させ、「県民全体で森林を支える社会づくり」に寄与することができた。
情報発信への取組	事業の実施前においては、市広報やHPを活用し、みえ森と緑の県民税の活用について周知を図った。また、本事業に関する竣工式やイベント等の主催者挨拶では、みえ森と緑の県民税活用事業であることを周知し、可能な限り記者提供も行った。 事業実施の際は、県民税リーフレットの配付や県民税旗を掲出するなど、周知に努めた。 また、市役所内の市民ギャラリーにおいて、県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についてのパネル展示を実施し、来庁者への情報発信を行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）					
・事業効果の追跡調査を行っていることは評価できます。各事業について、追跡調査などを行い、効果を検証されることを望みます。 ・総じて良好な取り組みをしていると評価できるが、5の講演が他の取り組みと比較しても非常にコストが高くついている点が気になった。もう少し身近な取り組みとして今後も継続されるよう改善を期待したい。 ・本委員会からの意見に応じて、真摯に改善し事業効果を高めている事業があることは嬉しく思う。 ・公民館での生涯学習講座では、もっと参加者の声を聴いているのではないか。それを成果として紹介してほしい。 ・危険木や病害虫被害木の伐採、記念樹配布、講演会やワークショップ、公民館での森林環境学習、新設保育園への県産材の使用など、多様な取組をされ、税が有効活用されています。それぞれ取組がつながるような広報媒体を作成し、市民に伝えてはどうでしょうか。 ・暮らしを守る森林保全事業では、保全活動だけでなく、森林教育も含めている点が評価できた。また森に親しむ記念樹贈呈事業では市民アンケート調査を実施して、状況把握を行っている点もは評価できた。 ・具体的に事業方針、効果等が記載してある点は優れている。 ・海岸林の松枯れ対策、保育所、アリーナなどの公共施設の木質化、学習講座など様々な分野に取り組まれているが、市としてどのように森林と関わっていくか全体のイメージがみえづらいように感じる。					

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	暮らしを守る森林保全事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	緑の未来づくり事業	有効性	3.0	B
			効率性	3.0	B
			公益性	2.9	B
			情報発信度	2.9	B
3	3. 森を育む人づくり	森に親しむ記念樹贈呈事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.8	C
4	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	AGF鈴鹿体育館サブアリーナ床面改修工事	有効性	3.2	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.8	C
5	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	森林環境に関する講演事業及び木製備品購入事業	有効性	3.3	B
			効率性	2.6	C
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.8	C
6	3. 森を育む人づくり	森と緑の生涯学習講座	有効性	3.5	A
			効率性	3.2	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.0	B
7	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	鈴鹿市立西条保育所新設工事	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.8	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

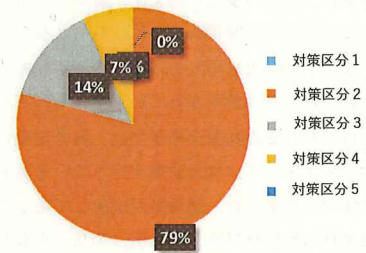
市町名	亀山市	三重県
人口（人）	49,945	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	13.8%	12.4%
森林面積(ha)	12,034.48	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	11,680.86	348,833.49
森林率(%)	63.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.0	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金基本枠事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	暮らしに身近な 里山・竹林環境整備事業	947,644	940,810		940,810				940,810
2	2	集落周辺の森林整備事業 (危険木の伐採)	8,778,389	8,677,000		8,677,000				8,677,000
3	3	森と木材のふれあい事業 (森の講座)	661,806	661,100			661,100			661,100
4	4	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)	855,090	855,090				855,090		855,090
5	3	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)	1,010,417	1,000,000			1,000,000			1,000,000
計			12,253,346	12,134,000	0	9,617,810	1,661,100	855,090	0	12,134,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	市民が里山・竹林の整備が実施できるように機械を導入し貸出すことで、民家周辺の生活環境の向上を図る。また、集落周辺の危険木の伐採を行い、市民が安心して暮らせるように「暮らしに身近な森林づくり」に取り組む。更に、森林環境教育・木育を実施することで、森林や木材について学ぶ機会を幅広い年代に提供し森林と木材の関係を深める。
事業実施により得られた効果	市民自らが里山・竹林の整備を行い生活環境が良くなったことと、危険木を伐採したことから市民の安心・安全に大きく寄与できた。また、協議会を通じて多くのイベントを開催し、幅広い年代が参加され多くの市民等に森林とふれあう場を提供できた。森の講座を開催したことで、参加した方が今後、地域の森林整備に携わるきっかけが作れた。更に、幼稚園・保育園で木育教室を開催し園児たちの豊かな心を育むことができた。
情報発信への取組	市ホームページにイベントや木育に関する開催結果などを掲載。また、行政情報番組で木育などを放送し多くの市民に周知できた。報道機関に取材を依頼し紙面に掲載されたことで県民に対して税事業の取組みを知らせられた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・全般に、積極的に情報発信されている点は評価できます。
- ・総じて良好な取り組みをしていると評価する。3については募集方法や情報を流すルートを見直し、より多くの参加者を得られるように努力してほしい。
- ・多様な取組を伝える包括的介绍と実施した成果を含めた市民に実施の概要を伝える媒体の製作されてはどうでしょうか。
- ・森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）では、産・学・官・民が協力して開催している点が評価できた。今後も続けてほしい。
- ・森林整備や森や木材に親しむ事業などに取り組まれているが、危険木伐採の割合が非常に大きい。必要なことではあるが、将来に向かって可能性が広がるような体験学習や木材利用などにも力を入れて頂くとよいと考える。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	暮らしに身近な里山・竹林環境整備事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	3.1	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	集落周辺の森林整備事業（危険木の伐採）	有効性	3.2	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.6	C
3	3. 森を育む人づくり	森と木材のふれあい事業（森の講座）	有効性	3.0	B
			効率性	2.7	C
			公益性	2.9	B
			情報発信度	2.9	B
4	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	有効性	3.4	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.2	B
5	3. 森を育む人づくり	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	有効性	3.4	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.2	B

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

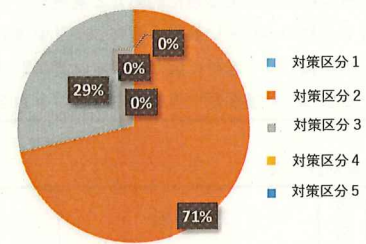
市町名	いなべ市	三重県
人口（人）	45,345	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.3%	12.4%
森林面積(ha)	12,808.21	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	11,738.79	348,833.49
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8.1	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	3	中学校卒業記念品配布事業	871,750	871,750			871,750			871,750
2	2	危険木の除去事業	2,183,930	2,183,930		2,183,930				2,183,930
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	8,796,320	0						8,796,320
4										
5										
6										
7										0
計			11,852,000	3,055,680	0	2,183,930	871,750	0	0	11,852,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらう。 豊富な森林資源を活用しつつ、手入れの遅れた森林の整備をすすめ、自然と調和した環境づくりを目指す。
事業実施により得られた効果	住民自らが危険木除去の要望をすることで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。 また、間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことが出来た。
情報発信への取組	市HPにおいてみえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真とともにわかりやすくPRしている。また、中学校卒業記念品配布事業では、生徒にはメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・県産材利用に向けた活動に取り組まれていることは評価できます。
- ・1については、卒業生にはよい記念になる取り組みだと思うが、できれば、ただ配付するだけでなく、仕上げ作業を卒業生本人に行ってもらったか、在校生を製作過程に関わらせるとか、もう少し「実際に木に触れる」体験になる活動になるとよいと思う。
- ・みえ森と緑の県民税市町交付金によって事業が進められていることを、直接の受益者以外にも広く周知できるよう、広報誌への掲載なども検討してほしい。
- ・上記2つの取組を通して、みえ森と緑の森林税や三重の森林環境に関心を持つための情報提供の工夫をされてはどうか。
- ・事業実施による効果の記載について「このような手法・やり方」によって実施したことにより「このような効果」があった事をもう少し具体的に記載するとさらに良いと思う。
- ・各事業において積算資料（実績報告参考資料）を添付するとわかりやすい。
- ・中学校の卒業記念品配布は長年続けられ、地域の事業体や福祉施設との連携も素晴らしいと考える。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	中学校卒業記念品配布事業	有効性	3.6	A
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木の除去事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.6	C

第16号様式

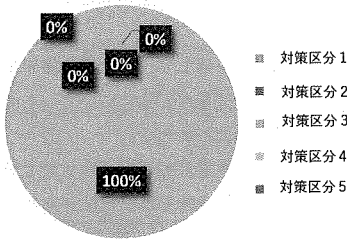
令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	木曽岬町	三重県
人口（人）	6,151	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	9.7%	12.4%
森林面積(ha)	0.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.0	10.1

- ＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	3	森林環境教育事業	912,148	912,148			912,148			912,148
2		みえ森と緑の県民税基金積立	4,493,852	0						4,493,852
3										0
4										0
5										0
6										0
7										0
計			5,406,000	912,148	0	0	912,148	0	0	5,406,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	当町は1級河川「木曽川」の最下流部に位置し、この河川から水田をはじめとする農作物の栽培に際し大きな恩恵を受けている。しかしながら、上流部とのつながりや水源である山間地域の特徴や生活について知る機会を持っていないのが現状である。このことから、木曽川の源となる山間地域を訪れ、森林とのふれあいにより、河川の恵みは森林から授かっていることを認知する機会を作り、森林環境教育を実施。
事業実施により得られた効果	当町は1級河川「木曽川」の最下流部に位置し、本町中学生がこの河川の源流となる長野県木曽郡木祖村を訪れ、森や緑の恵みを実際に体験することで、改めて山間地域と本町とのつながりを認識できると共に、森林からの恵みを体感することにより、森林の必要性や大切さを実感させることができた。 また、現地の中学生と互いの町を紹介し合うことで、山間地域の特徴や生活の工夫などの理解も深まった。
情報発信への取組	「学校だより」にて保護者へ発信すると共に、学校昇降口エントランスに木祖中との交流学习のまとめで掲示し、来校者へ発信。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・今後も、中学校等での教育活動に積極的に参画されることを期待します。
- ・今後も取り組みを継続的に実施されることを期待したい。
- ・県外の森への訪問とはなるが、最下流部の子どもたちが水源地域の森林を訪ねることは、森林教育としても意義あると考える。今後は、この事業が、みえ森と緑の県民税市町交付金事業で行われていることを、保護者やさらには木祖村の関係者にもPRしていくよう努めてほしい。
- ・毎年実施される取組であるため、本事業を実施する前と当日、後の学びの変化を把握する評価手法を取り入れてもよいのではないのでしょうか。
- ・森林環境教育の効果についてもアンケートを取るなどして、調べてほしい。
- ・感想文やアンケート調査を行うと良い。
- ・森林のない木曽岬町では以前から源流地域での学習を実施されておりその意義は理解できる。
- ・木曽川を通じた水源というだけでなく木材を通して人の暮らしと森はつながっており、木材利用の事業や、森林環境教育でも林業の要素も加えて頂くと良いと考えている。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	森林環境教育事業	有効性	3.0	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.7	C

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

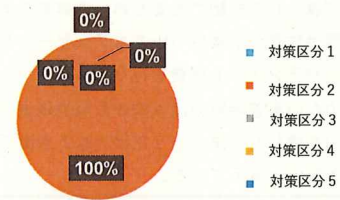
市町名	東員町	三重県
人口（人）	25,538	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	13.2%	12.4%
森林面積(ha)	177.13	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	177.13	348,833.49
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	15.7	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	みえ森と緑の県民税市町交付金事業危険木伐倒等業務	1,698,000	1,698,000		1,698,000				1,698,000
2		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	5,000,000	0						5,000,000
計			6,698,000	1,698,000	0	1,698,000	0	0	0	6,698,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	平成26年度に実施した危険木の調査に基づき、人家裏や通学路沿いなど、これまで整備が進みにくく荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象として、倒木になる恐れのある危険木の除去・間伐を計画的に行い安心・安全なまちづくりを図る。
事業実施により得られた効果	森林環境の保全及び地域住民の意識の醸成が図られた。現地（民家裏等）での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。
情報発信への取組	工事看板に「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会への施工周知回覧に事業の概要についても掲載。 その他、町のHP・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

・事業に対する周知を図り、必要な整備を進めてほしい。その際、その他の事業（例えば自治会等が主体となって行う森林整備や森林教室等）についても周知を図り、次のステップに促すような工夫があると良いと思う。

・事業実施の際に、周辺住民の方々に、森と緑の県民税についても丁寧に説明いただき、理解を深めていただいているようなのはありがたいと感じる。引き続き周知に協力いただきたいと思う。

危険木や病虫害被害木の伐採については、地域の人々から情報を得つつ、地域連携で取組を発展されるとよいのではないか。この取組を森林環境教育の教材にしてもよい。

・危険木処理の意義は理解できるが、将来に向けた前向きな事業も実施してほしい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木伐倒等業務	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.1	B

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

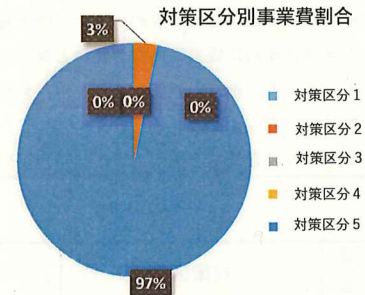
1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	菰野町	三重県
人口（人）	40,463	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	14.2%	12.4%
森林面積(ha)	5,348.67	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	5,272.74	348,833.49
森林率(%)	50.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	4.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）						内当年度交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	312,500	156,000		156,000				156,000
2	5	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	4,910,400	4,774,000					4,774,000	4,774,000
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	4,447,000	0						4,447,000
計			9,669,900	4,930,000	0	156,000	0	0	4,774,000	9,377,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	菰野町では、「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則り、「災害に強い森林づくり」では防災・減災の観点から病虫害被害により倒木の危険が高まっている危険木を伐採する事業を行い、「県民全体で森林を支える社会づくり」では菰野町民にとって身近な山である菰野富士を活用し、バリアフリー木道を設置し、誰もが森林と緑に親しむことのできる環境整備を行い、自然体験や自然学習を通じて自然とのふれあいを深めるため整備を行っている。
事業実施により得られた効果	公共の道路に倒木の可能性がある危険木を事前伐採することにより、通行者に対する安全の確保及び電線断線の危険の排除ができた。また、病虫害による被害拡散を防止することができた。
情報発信への取組	伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。菰野富士の現場では、さらに立て看板を設置することにより、PRを行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・遊歩道整備について、工事完了以降に、利用者へのアンケートなどによる有効性の効果を検証していただければと思います。
 - ・総じて良好な取り組みである。2については、今後は多くの人々に楽しまれるように、魅力的なイベントの企画や周知に取り組んでほしい。
 - ・菰野富士の遊歩道は2022年度まで供用開始されないのだろうか？ それまでの間にも、森林への理解を高める啓発など、事業の効果を高める工夫をしてほしい。
 - ・写真がわかりにくかった。
 - ・2つの取組を上手く活用し、三重の森林環境が抱える課題と、みえ森と緑の県民税についての周知をさらに積極的にすすめていただきたい。
 - ・菰野富士ふるさとの山環境整備事業については、景観を保全しつつ、自然を楽しんでもらえる取り組みとなっている点が評価できた。
 - ・毎年菰野富士のバリアフリー遊歩道に大きな金額を割いておられるが、全体像がみえづらい。
- また遊歩道単価が理解できる範疇を超えている。毎年指摘しているので完成時にどのような遊歩道ができその金額が必要な理由を示して欲しい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	病虫害被害木伐採搬出事業	有効性	3.0	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.1	B
2	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	有効性	3.2	B
			効率性	2.8	C
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.8	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

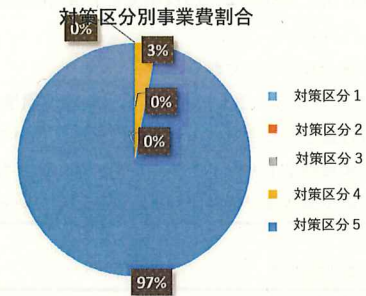
1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	朝日町	三重県
人口（人）	10,963	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	19.5%	12.4%
森林面積(ha)	63.21	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	63.21	348,833.49
森林率(%)	11.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	2.1	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	5	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設、ふれあいパーク)	1,435,219	1,200,000					1,200,000	1,200,000
2	5	森と緑とふれあう環境づくり事業 (ふれあいパーク)	3,685,000	2,700,000					2,700,000	2,700,000
3	4	森と緑を大切に思う人づくり事業	126,500	121,000				121,000		121,000
4	2	里山再生整備事業（みえ森と緑の 県民税市町交付金積立事業）	1,700,000	0						1,700,000
計			6,946,719	4,021,000	0	0	0	121,000	3,900,000	5,721,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	当町は町の面積が小さく森林面積も小さいが、人口が急増しており年少人口割合が三重県一高いことから、年少者やその親を意識した事業を展開している。子ども・親子を対象とした事業は他市町でも実施されていると思われるが、当町では上記の理由から同様の事業であっても三重県一効率的、効果的な事業実施に繋がっていると思われる。また、他の事業（東海道まちなみ整備など）との連携を図り、相乗効果に繋がるよう事業展開をしている。
事業実施により得られた効果	就学前の幼児に対する施策（園庭整備、木のおもちゃ）、就学後の学童に対する施策（まちなみ将棋）、親子が集まる施設での施策（ふれあいパーク整備）により、幼少期から小学校低学年まで継続的に緑や木に触れる機会の提供に繋がっており、子どもやその親を中心に町民の緑・木に対する関心が高まっている。
情報発信への取組	看板、備品への焼き印、ホームページ等でみえ森を使った取組であることを周知している。また、他の事業（東海道まちなみ整備）と連携することでそれらの参加者等に対しても効果的な情報発信につながっている（ワークショップ参加者に対してまちなみ将棋を周知するなど）。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・情報発信の案内看板などについて、事業内容との関連性を記載するなどの工夫を検討いただければと思います。
- ・施設を利用した木育のイベントなど、より森林を意識させるような取り組みがあると更に良いと思う。
- ・ふれあいパークの整備は、整備して終わりではなく、これらを通じて木に対する親しみを高めていくよう活用してほしい。
- ・施設等のフィールド整備を通して、三重の森林環境が抱える課題への関心やみえ森と緑の県民税の当事者意識を持っていただけるような工夫があるとよい。
- ・まちなみ将棋はとてもユニーク。まちなみ将棋を上手く活用して、人と森林のつながり、森林環境について伝えていただきたです。
- ・同町の広報誌等で「みえ森と緑の県民税」の活用を周知することが望ましい。
- ・森林が少ない県北部地域では芝生化などに予算が多く咲かれているが是非、森と私たちの暮らしのつながりに気づききっかけとなるような事業を行って欲しい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	森と緑とふれあう環境づくり事業 (幼保一体化施設、ふれあいパーク)	有効性	2.9	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	3.1	B
2	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	森と緑とふれあう環境づくり事業 (ふれあいパーク)	有効性	2.9	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.7	C
3	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	森と緑を大切に思う人づくり事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.8	C

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

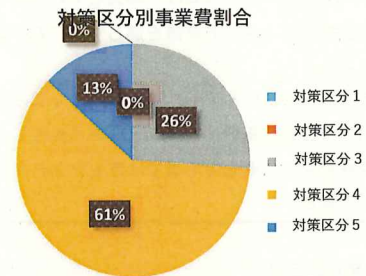
1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	川越町	三重県
人口（人）	14,888	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	15.0%	12.4%
森林面積(ha)	0.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	3	川越中学校自然教室	1,065,696	701,236			701,236			701,236
2	3	川越北小学校自然教室	760,408	559,960			559,960			559,960
3	3	川越南小学校自然教室	662,258	511,780			511,780			511,780
4	4	川越中学校美術室・技術室・ 机・椅子整備事業	3,591,000	3,591,000				3,591,000		3,591,000
5	5	川越北小学校シンボルツリー 樹形整形事業	880,000	880,000					880,000	880,000
6	4	ふれあい広場ベンチ整備事業	594,000	525,024				525,024		525,024
7										0
計			7,553,362	6,769,000	0	0	1,772,976	4,116,024	880,000	6,769,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	川越町には森林が無いため、直接的事業ではなく、木との触れ合いを通じて、木について学ぶきっかけや、森林や木材への理解を深めるた、自然教室や学校及び公共施設の木質化を重点に進める。
事業実施により得られた効果	自然教室において、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ習慣が身に付きました。また、木製品に触れることにより、温かみや木の肌触りと香りを感じることができ、木材利用に対する理解が深まった。
情報発信への取組	当町HPを活用し町民への情報提供を行いました。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・小中学校での活動について、事後のアンケートなどで、効果を検証していただくことを検討していただければと思います。
- ・総じて良好な取り組みだが、5についてはその有効性や公益性がよくわからない。もし、樹形整形が安全上の理由（奥に電線が見えているので）なども考慮されてのことであれば、その旨を明記すべき。木についての愛着・理解を深めるという理由が現状ではみえにくい。
- ・各学校での事業は、児童・生徒だけではなく保護者の認識も深まるよう、周知に努めてほしい。
- ・自然教室での体験や学びを、学校教育においてはどの教科や他行事と結びつけ、森林環境教育カリキュラムをどう作るかが次の段階ではないでしょうか。机・椅子の整備やシンボルツリーをによる森林資源を近しく感じられる工夫がとてもよいです。この体験や学び、県産材を使った備品の調達等の取組を包括的にとらえ、児童生徒が何をどう学ぶかというねらいを明確にして取り組むことができるとよいのではないのでしょうか。
- ・情報発信度で本事業のロゴマークの活用も図ってほしい。
- ・川越中学校に対する事業については、机等の整備と併せて自然体験ではなく、学校内でのセミナー等授業の一環として「森を育む人づくり」を企画することのほうが効果的であると思う。川越北小学校も同様。
- ・森林の無い町であっても自然体験と木材利用を進めておられることを評価している。
- ・自然体験活動の中に木材利用との結びつきについて考えられるような活動を取り入れてほしい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	川越中学校 自然教室	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
2	3. 森を育む人づくり	川越北小学校 自然教室	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
3	3. 森を育む人づくり	川越南小学校自然教室	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
4	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	川越中学校美術室・技術室 机・椅子整備事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
5	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	川越北小学校シンボルツリー樹形整形事業	有効性	3.0	B
			効率性	2.8	C
			公益性	2.9	B
			情報発信度	3.0	B
6	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	ふれあい広場ベンチ整備事業	有効性	3.0	B
			効率性	3.0	B
			公益性	2.8	C
			情報発信度	2.5	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

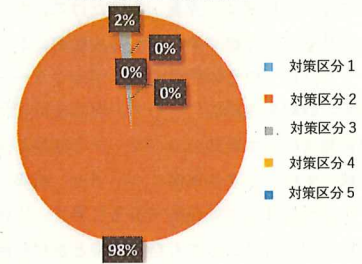
市町名	津市	三重県
人口（人）	275,223	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	41,560.61	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	40,820.03	348,833.49
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7.6	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	林地残材搬出促進事業	35,849,400	35,815,400		35,815,400				35,815,400
2	3	津市森林環境教育事業	493,600	493,600			493,600			493,600
3	3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000	250,000			250,000			250,000
										0
										0
										0
										0
計			36,593,000	36,559,000	0	35,815,400	743,600	0	0	36,559,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	48.71ha	37,202,000	37,201,000	災害緩衝林事業地周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	9,438m	6,438,000	6,438,000	獣害柵設置に対する助成

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	・間伐等で発生する林地残材等を搬出し、木質バイオマスとして利用を図ることで、林地残材の減少を図り、河川等への流出を防ぐことで流木を出さない森林づくりを進める。 ・木のぬくもりや良さを知ってもらい、森林や木材について学び、林業の現場での体験を通して正しく理解してもらい、自らが進んで森林環境教育に取り組める人材を育てていく。
事業実施により得られた効果	・林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 ・直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。
情報発信への取組	事業実施個所については、税ののぼり旗により啓発を行った。 県民税の活用についてホームページや広報紙等に掲載した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

・森を育む人づくりで、参加者アンケートを実施されていることは評価できます。今後は、アンケート結果を実施内容に反映していただくことを希望します。

・引き続き、継続的な取り組みを期待する。

・体験型事業の魅力をしっかり発信し参加者を増やし効果を高める工夫をしてほしい。

・森や緑を学ぶ講座やフィールド学習が展開されており、また林地残材搬出といった重要な取組をされていて、これらをみえ森と緑の県民税を活用して、何のためになぜこの3つの取組をしているのかをまとめたペーパーの製作などを市民への周知媒体するなどされてはどうでしょうか。教材にしてもよい。

・アンケートの実施をおこなっている点も評価できた。

・体験や森林環境教育事業の内容は素晴らしいと思うが、大半の予算がバイオマス材の搬出助成に充てられている。他の市でも同様の事業はあるがもっと小規模ないわゆる「スモールフォレストリー」を支援するような仕組みである。津市のバイオマスタウン構想と記載があるが市内のバイオマス発電所に運んだ際に助成するやり方ではチップ材の買い取り価格の下落にもつながりかねない。根本的な見直しを行うべきであると考え

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	林地残材搬出促進事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.8	C
2	3. 森を育む人づくり	津市森林環境教育事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.2	B
3	3. 森を育む人づくり	美里水源の森「林業体験」事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.1	B

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

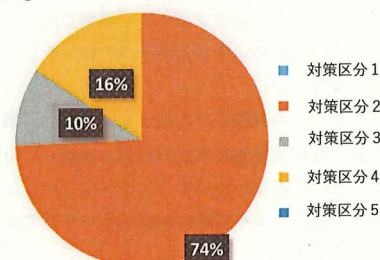
1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による 対策区分別事業費割合

市町名	松阪市	三重県
人口（人）	160,219	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.6%	12.4%
森林面積(ha)	42,802.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	41,341.14	348,833.49
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.5	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	里山の森林安全安心対策事業	21,780,000	21,718,280		21,718,280				21,718,280
2	3	森林環境学習事業	2,898,720	2,898,720			2,898,720			2,898,720
3	4	都市公園整備事業	4,618,900	4,600,000				4,600,000		4,600,000
計			29,297,620	29,217,000	0	21,718,280	2,898,720	4,600,000	0	29,217,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	4.00(ha)	8,020,080	8,000,000	面積調査等、伐倒・搬出450本
森林再生力強化対策事業	10,392(m)	7,879,569	7,879,569	獣害防止施設等整備(植栽タイプ)

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく3つの事業を実施した。 1. 里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。 2. 森林環境整備事業…将来の森林の担い手を育成することを目的に、管内小学校を対象に森林環境教育を実施。 3. 都市公園整備事業…都市公園内に地域産の東屋・ベンチを設置し利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に木材の利用意義を学ぶ機会に繋げる。
事業実施により得られた効果	里山の森林安全安心対策事業については、自助努力により対応できない箇所について自治会等の地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。
情報発信への取組	森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上やテレビ放映において、情報を発信した。又、森林環境学習の一環で幼児から小学生向けの森林環境教育用の絵本を作製し、市内全小学校・保育園・幼稚園に配布を行ったため今後、絵本を活用し更なる環境学習の推進に努めたい。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・上流から下流までを含む地域の状況に応じた取り組みをされていると感じます。
- ・総じて良い取り組みが実施されていると評価する。
- ・小学校を木質化すると同時に、子どもたちが森林資源を生業にしている工場や作業場の見学をするなど森林環境教育も重ねて実施されている点がとてもよいです。オリジナル絵本の製作もとてもよい。絵本など、どんどん紹介して、活用していただきたいです。松阪市内の他の小中学校にどう展開されていくのか、とても期待しています。
- ・環境教育について、さまざまな工夫がされていた。
- ・木質化を進めると同時に森林学習をセットで行う取り組みは非常に効果があると思う。
- ・各事業において積算資料（実績報告参考資料）を添付するとわかりやすい。
- ・松阪市内には多くの林業事業体や製材所、木材加工、木質バイオマス発電所もあり、県内林業の中心地でもある。主に製材所の若手の組織である松阪地区青和会では、昨年はベルファームにいて「フェス木バル」を開催し多くの来場者が木に親しむ機会となった。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり大きな行事は難しいが、家でできる木工を動画配信するなど木育活動にも積極的に取り組んでいる。市としてもこうした市内のメンバーとうまく連携した事業を進めて頂きたい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	里山の森林安全安心対策事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.7	C
2	3. 森を育む人づくり	森林環境学習事業	有効性	3.7	A
			効率性	3.1	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.3	B
3	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	都市公園整備事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

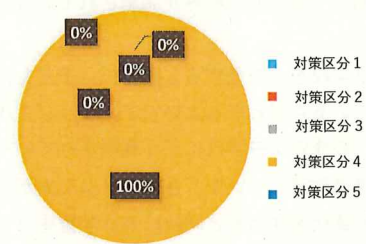
市町名	多気町	三重県
人口（人）	14,345	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.8%	12.4%
森林面積(ha)	5,915.33	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	5,915.33	348,833.49
森林率(%)	57.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	23.2	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	4	県産材を活用した木製備品整備事業	7,453,600	7,453,600				7,453,600		7,453,600
2		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	461,400	0						461,400
計			7,915,000	7,453,600	0	0	0	7,453,600	0	7,915,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	2.00(ha)	821,700	821,700	
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	県産木材を利用した備品を配置することにより、地域資源である木の素晴らしさを再認識できる事業にしていきたい。
事業実施により得られた効果	県産木材を利用した備品を各小中学校、保育園、児童館に配置したことにより、木と緑に対する関心が高まり、地域の森林を身近に感じることができるようになった。
情報発信への取組	多くの地域の方に、木製備品の良さを実感してもらうため広報誌等でアピールした。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

・事業効果の検証を、方法も含めて検討いただければと思います。

・1については、木製備品の整備と合わせて、是非、児童生徒、保護者、教員への森林環境教育や木育的な取り組みも行ってほしい。

・子どもたちだけではなく、その保護者にも、森林への関心が高まるなどの形で効果が波及するよう、発信等に工夫をしてほしい。

・市内11ヶ所の施設（保育園、小学校、中学校、児童館）での取組がとてもよいです。今後いかに発達段階、地域連携によるカリキュラムをつくれるのか。子ども達の体験や気づき、学びが体系立てて深まっていくようなスキームをつくられていくのか、期待しています。

・情報発信度で本事業のロゴマークの活用も図ってほしい。

・事業自体は町内全体をカバーしているが、設置して終了ではなく、設置後にそれぞれの地域住民も含めた説明会等を開催するとさらに効果が上がる。

・木製備品の導入に大きな予算を割かれているが、尾鷲市のように森林環境教育と木製備品の導入は合わせて行って頂きたい。

多気町はどちらかというと林業より農業が中心と思うが、竹も組む森林資源をどのように活用してゆくか方針を立てて、その中で木材利用を進めるような取り組みを期待したい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	県産材を活用した木製備品整備事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.6	C

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

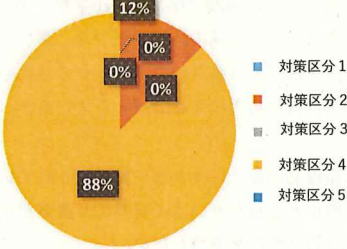
市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,563	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	13.1%	12.4%
森林面積(ha)	310.97	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	310.97	348,833.49
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.0	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	4	学校等木製備品購入事業	7,734,100	7,063,000				7,063,000		7,063,000
2	2	松林整備事業	1,371,600	1,000,000		1,000,000				1,000,000
3				0						0
4				0						0
5				0						0
6				0						0
7				0						0
計			9,105,700	8,063,000	0	1,000,000	0	7,063,000	0	8,063,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	1 学校に県産材備品を活用することで、生徒・園児にも森林の大切さを伝えることを提供する。 2 税を活用することで、多くの地域住民に安全・安心な環境を提供する。
事業実施により得られた効果	1. 学校等木製備品購入事業においては、園児、生徒のみならずその父兄にも広く周知することで、税事業の意義を伝えられた。 2. 防風林としての役割を持つ松林の、松くい虫被害拡大を防ぐとともに、枯損木による危険低減させることができた。
情報発信への取組	広報誌や町ホームページ等にて事業の取り組み状況について情報発信を実施。 ホームページの上位に表示されるよう頻繁に更新を行ったり、写真等画像を多くしたり工夫をした。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・1については、木製品の導入とともに、森林環境教育や木育の取り組みも合わせて行ってほしい。
- ・公有林の持続的な適正管理に努めてほしい
- ・町内6小学校と認定こども園と連携し、県産材の備品を導入されているが、フィールドや木材を活用した体験型学習、教科との連携による授業展開など、子どもの学びのプロセスに応じた取組の検討も今後されてはどうか。
- ・入れ替える際に在校生等に県内産木材を活用した机等を導入することなど授業で説明するなどの取り組みも重要
- ・毎年学校への木製備品の導入がされ、森林環境教育を合わせて行って頂きたい旨、コメントしていたが、本年も事業報告からは同様の指摘をせざるを得ない。
- ・昨年度は大紀町の商工会を通じて明和町内の小学校が森林環境教育を受けに来たが、教材費をやりくりしてバス代等を捻出たと校長先生が話しておられ、県民税が使えることもご存知でなかった。
- ・町として備品購入と合わせ森林環境教育も進めていくという計画を是非立てて頂きたい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	学校等木製備品購入事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	松林整備事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.9	B

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

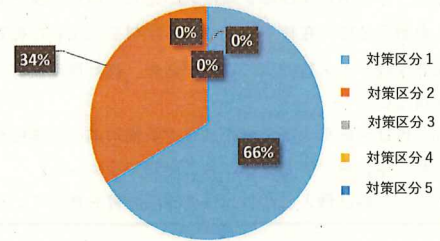
市町名	大台町	三重県
人口（人）	8,975	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	9.8%	12.4%
森林面積(ha)	33,760.45	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	27,941.63	348,833.49
森林率(%)	93.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	ほっとする道ばた森林整備事業	5,170,000	5,000,000		5,000,000				5,000,000
2	1	災害に強い森林づくり整備事業	9,984,700	9,911,000	9,911,000					9,911,000
										0
										0
計			15,154,700	14,911,000	9,911,000	5,000,000	0	0	0	14,911,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	111.08ha	39,420,700	38,259,000	間伐
森林再生力強化対策事業	4,002m	2,629,219	2,629,000	植栽

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	台風等による風倒被害で交通障害や停電を招く恐れのある道路と河川間の山林や山腹崩壊や土壌浸食の恐れのある森林において、人工林を伐採し広葉樹等の植栽や間伐を行うことにより防災機能の強化を図る。
事業実施により得られた効果	風倒被害等の懸念が無くなり、広葉樹植栽により公益的機能が向上し安心安全の確保が出来たこと、また、森林の有する水源かん養機能の維持増進が図られ、災害に強い森林づくりを行うことができる。
情報発信への取組	町ホームページへの掲載や施業実施場所に看板を設置することにより、町民や道路利用者等不特定多数に対し情報発信を行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・森林の維持・管理に関する事業を確実に実施されていることは評価できます。
- ・色々事情はあると思うが、なるべく効率的な事業実施を心がけてほしい。
- ・1人の地権者の持つ森林の管理のために517万円もの公費が投じられることに、やはり違和感を覚える。これまで採算が取れないとして施業放棄されていた場所が、今後は適正に管理されるという保証はあるのだろうか？ 地権者が適正に管理できないなら（今後とも公費によって管理される可能性があるなら）、その土地は寄付されて公有地化されるべきではないのだろうか。不公平感のない制度設計をしてほしい。
- ・この取組がさらに多くの場所、町内他地域での展開を可能にできるよう、成果を可視化し、周知・実施を促していただきたい。
- ・各事業において積算資料（実績報告参考資料）を添付するとわかりやすい。
- ・大台町は森林の町であり、町内には林業事業体や木材市場、自然学校などがあり森林環境教育を進めるにはうってつけの場所であり、そのような活動は税を使わずにも実施されている。そうした町であるのに森林環境教育の事業が皆無である。今後は事業のバランスを考えて頂きたい。
- ・2番の事業は森林環境創造事業の巻替えに思えてならない。現在の県民税の使途のとして適切であるのか検討が必要だと思う。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	ほっとする道ばた森林整備事業	有効性	3.4	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
2	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	災害に強い森林づくり整備事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	2.9	B

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

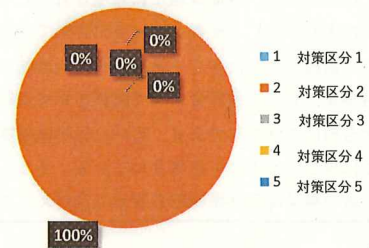
市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	123,911	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	11.9%	12.4%
森林面積(ha)	10,956.43	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	10,956.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	森林整備事業	5,067,140	5,067,140		5,067,140				5,067,140
2		基金積立	11,722,860	0						11,722,860
3										
4										
5										
6										0
7										0
計			16,790,000	5,067,140	0	5,067,140	0	0	0	16,790,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	伊勢市の沿岸部には、松林がひろがっているが、この松林は、地域住民の生活を守る防風林の役割を担っている。しかし、近年の病虫害被害により枯松が激増し、防風林としての機能低下や、倒木の被害が心配される。このため、当該交付金を活用し病虫害被害を未然に防ぐことにより、景観保全、地域住民の安全な暮らしの確保を図っていく。
事業実施により得られた効果	防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民及び観光客への被害防止を図ることにより、安全・安心な暮らしの確保に繋がる。
情報発信への取組	施行前に住民代表をととして、工事案内のチラシにより地域住民に周知した。 施工期間中、観光客等が目につく場所に県民税PR看板とのぼりを設置しPRした。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・情報発信のための看板の写真がないので確認できませんが、観光客への情報発信が重要と考えます。
- ・必要な事業だと思う。
- ・二見を訪れる観光客にも広く、森林の効用やその保全に対する理解、さらには税に対する理解を深めていただけるような、PRの工夫をお願いしたい。
- ・地域住民との協議を丁寧に行い、地域住民の暮らしが安心して営まれるよう、市内の他地域への実施、展開の検討をしていただきたい。
- ・地域住民との連携による事業実施後の管理体制の整備に対する取組みは望ましい。
- ・大半の金額を積立にしておられるがどのような事業を計画されているのか示して頂くと良いと思う。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	森林整備事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.7	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

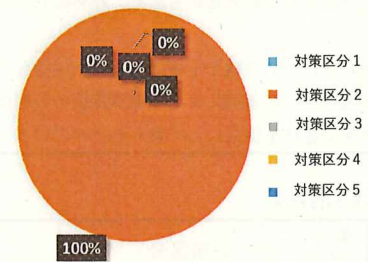
市町名	鳥羽市	三重県
人口（人）	17,962	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	9.5%	12.4%
森林面積(ha)	7,483.76	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	7,486.76	348,833.49
森林率(%)	70.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.2	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	危険木伐採事業	8,697,700	8,697,000		8,697,000				8,697,700
2										
3										
4										
5										
6										0
7										0
計			8,697,700	8,697,000	0	8,697,000	0	0	0	8,697,700

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	平成28年度より市民から安心安全な生活を送る事が出来るよう危険木伐採の要望が各町内会・自治会から提出されていたが、平成30年度は木育のために保育所に木製ボックスを購入した。しかし、危険木伐採事業の要望が多く残っていたため、本年度は危険木伐採事業を行った。
事業実施により得られた効果	事業実施により、市民が安心安全な生活を送ることが出来るようになった。
情報発信への取組	広報誌を用いて、危険木剪定業務を行ったことを周知した。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・特に無し。必要な事業が行われていると思う。
- ・通学路を利用する生徒らにも、広く理解を広げるような周知を、工夫してほしいと思った（中学生は広報誌は読まないと思われるので）。
- ・地域住民との協議を丁寧に行い、地域住民の暮らしが安心して営まれるよう、市内の他地域への実施・展開の検討をしていただきたい。
- ・危険木の伐採にすべての予算を使っておられる。必要性は理解できるが前向きな事業も検討して頂きたい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木伐採事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.6	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

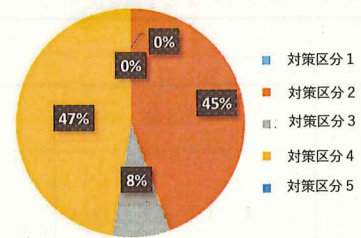
市町名	志摩市	三重県
人口（人）	47,100	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	9.2%	12.4%
森林面積(ha)	9,103.74	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	9,101.49	348,833.49
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	6.2	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）						内当年度交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	里海・里山保全事業	5,086,400	4,973,310		4,973,310				4,973,310
2	3	里山体験事業	947,714	917,690			917,690			917,690
3	4	中学校木製備品整備事業	5,292,000	5,292,000				5,292,000		5,292,000
4										0
5										0
6										0
7										0
計			11,326,114	11,183,000	0	4,973,310	917,690	5,292,000	0	11,183,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	6.75ha	3,575,000	3,575,000	調整伐（間伐）
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病虫害の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による、森林保全（里山保全）の取組を推進する。 また、災害に強い森林づくりとして森林整備を進める。
事業実施により得られた効果	①体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。 ②古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。 ③特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。 ④三重県産材木で制作された机、椅子等を設置することにより、温かみと潤いのある教育環境づくりができた。
情報発信への取組	事業成果について、市ホームページで紹介している。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・森を育む人づくりで、参加者アンケートを実施されていることは評価できます。今後は、アンケート結果を実施内容に反映していただくことを希望します。
- ・3については、木製備品の設置だけでなく、森林環境教育や木育的な取り組みも合わせて行ってほしい。
- ・技術や美術などの授業の中でも、木育を進めていってほしい。
- ・地域の重要な資源を保全する活動及び、市民・次世代に里山の重要性を体験する学習、さらに中学校において県産材を使用した備品の導入など、多様な取組がされており、この3つの活動の共通事項を志摩市民にどのように伝えていくかといった情報発信の工夫があるとよいです。
- ・アンケート調査を実施している点も評価できた。あとは整備授業では本事業のロゴの表示もおこなってほしい。
- ・明細も詳細まで記述されている。森林整備と森林環境教育、木製品の導入がバランスよく行われており素晴らしい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	里海・里山保全事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
2	3. 森を育む人づくり	里山体験事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.1	B
3	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	中学校木製備品整備事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.7	C

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	玉城町	三重県
人口（人）	15,199	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	14.5%	12.4%
森林面積(ha)	1,259.02	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	1,258.77	348,833.49
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	25.7	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	3	森林環境教育・木育事業	324,940	324,940			324,940			324,940
2	4	公共施設（学び場）整備事業	3,078,096	3,078,096				3,078,096		3,078,096
3	5	森林ふれあい創出事業	423,500	423,500					423,500	423,500
4		玉城町被害防止森林創出事業 （交付金基金積立事業）	2,583,464	0						2,583,464
5										0
6										0
計			6,410,000	3,826,536	0	0	324,940	3,078,096	423,500	6,410,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	森林率が低い当町であるがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づく度合いが大きいかと考えます。森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えに基づく。 また、教育現場、保育現場での学びの場を創出することと同時に森林環境教育を実施していくことが、多くの方々に森林への関心が高まることに繋がるものと考えに基づき、実施。
事業実施により得られた効果	森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらえた。 また、木と触れ合える保育環境を園児とその保護者に感じてもらうことで、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらうことが出来た。
情報発信への取組	町の広報誌（広報たまき）への記事を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。 町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者（園児、生徒）はもとより教員・職員からも事業に対する理解の声をいただいている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・森を育む人づくりで、参加者や利用者にアンケートを実施し、その結果を、今後の実施内容に反映していただくことを検討いただければと思います。
- ・3の事業については、木製ベンチを導入するという取り組みそのものについては否定するものではないが、ベンチの価格はあまりにも高額で問題
- ・学校だより等、引き続ききめの細かい周知・啓発に努めてほしい。
- ・小学校や保育所での体験学習（図書を活用しての学びはとてもよい）、保育所や中学校の県産材を使った改修、公共施設の遊具の整備などが、町民の学びや意識がより高まるよう（周知されるよう）、それぞれの取組がつながり、価値が高まるような工夫があるとよいです。
- ・森林環境教育の効果についてもアンケートを取るなどして、調べてほしい。
- ・森林環境教育と木材利用が行われていることを評価する。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	森林環境教育・木育事業	有効性	3.0	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.7	C
2	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	公共施設（学び場）整備事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.6	C
3	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林ふれあい創出事業	有効性	2.9	B
			効率性	2.9	B
			公益性	2.9	B
			情報発信度	2.7	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

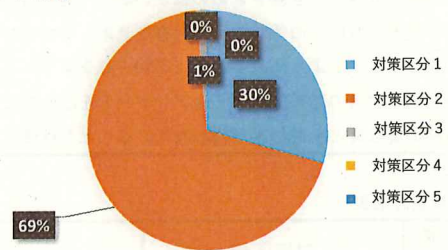
市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,950	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	11.6％	12.4％
森林面積(ha)	11,410.44	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	11,410.44	348,833.49
森林率(％)	85.0％	64.0％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.6	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	3	森林環境教育推進事業	95,040	95,000			95,000			95,000
2	1	流倒木撤去事業	2,090,000	2,090,000	2,090,000					2,090,000
3	2	危険木伐採事業	4,910,800	4,910,000		4,910,000				4,910,000
4		みえ森と緑の県民税市 町交付金積立事業	2,233,000	0						2,233,000
5										0
6										0
7										0
計			9,328,840	7,095,000	2,090,000	4,910,000	95,000	0	0	9,328,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.00ha	2,970,000	2,970,000	間伐
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	「災害に強い森林づくり」を目指し、防災・減災を図るとともに、住民に森林について学ぶ場と触れ合う場を提供する。
事業実施により得られた効果	道路沿い等については住民に危害を与える恐れのある危険木を伐採し、河川沿いについては大雨時に下流へ倒木等が流出しないよう撤去し、防災・減災に努めた。 また小学校においては出前授業を行い、森林について学ぶ場・触れ合う場を提供した。
情報発信への取組	・町ホームページ及び町広報紙により取組みを周知 ・森林環境教育推進事業については記者提供をおこない、出前授業の取り組みが伊勢新聞（令和2年2月22日朝刊）に掲載される。 ・庁舎内掲示板にて事業事例の紹介 ・現地に県民税ののぼり旗の設置

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・必要な事業が行われていると思う。 ・倒木の撤去、危険木の伐採の取組が、いかに重要で、地域住民の暮らしに安心をもたらしていることを伝える工夫があってもよいのではないのでしょうか。特に、子どもたちを対象にした森林環境教育においても、「遠い地域」の事ではなく。自分の町の森林環境についても学ぶ機会があってもよい。倒木の撤去、危険木の伐採も学習教材になります。 ・森林環境教育については費用面をかなり抑えている点が非常に評価できた。 ・森林環境教育事業の内容は多岐にわたり素晴らしいと感じる。他の市町の同様の事業に比べて安すぎないか？林業関係者は善意で受ける場合が多いが、ある程度しっかりとした対価を予算化すべきであると思う。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	森林環境教育推進事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.1	B
2	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	流倒木撤去事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B
3	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木伐採事業	有効性	3.2	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.0	B

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

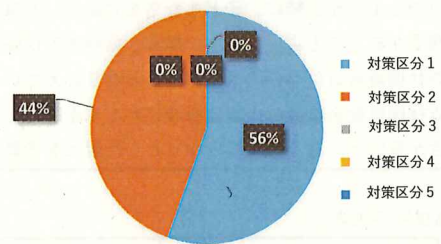
市町名	大紀町	三重県
人口（人）	8,068	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	7.8%	12.4%
森林面積(ha)	21,131.83	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	20,406.17	348,833.49
森林率(%)	91.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.2	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	生活環境林整備事業	4,000,700	4,000,700		4,000,700				4,000,700
2	1	溪流倒木等処理事業	5,000,600	5,000,600	5,000,600					5,000,600
3		三重森と緑の県民税市町交付金積立事業	3,347,700	0						3,347,700
										0
										0
計			12,349,000	9,001,300	5,000,600	4,000,700	0	0	0	12,349,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	15.1ha	5,410,900	5,410,900	本数調整伐
森林再生力強化対策事業	2547m	986,037	986,037	植栽タイプ

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	基本方針1の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と溪流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心の向上させていく。また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことが、県民全体の安心安全に繋がっていく。
事業実施により得られた効果	事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、公共施設等の利用への安全性が向上したことと、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安心安全を向上することが出来た。
情報発信への取組	事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。また、当年行った事業において、事業実績が分かるようPRポスターを作成し、来庁者に見て頂けるよう通年掲示している。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
・必要な事業が行われていると思う。 ・役場庁舎へのポスター掲示だけでは、どれだけの人に伝わるのかと疑問に思う。せめて施工箇所近隣の住民には回覧板で知らせる等の工夫はされているのだろうか。 この取組を広く町民に伝える、知らせる工夫（取組）があるとよいです。 ・今後も、来庁者用にPRポスターを通年掲示しているしてほしい。 ・事業はある程度効率的に行われていると思われるが情報発信が不十分だと感じた。 ・また森林環境教育も実施されているが税は活用されておらず、名張市や伊賀市のように予算化して先生方が使いやすい工夫があると良いと感じている。	

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	生活環境林整備事業	有効性	3.3	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.7	C
2	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	溪流倒木等処理事業	有効性	3.3	B
			効率性	2.8	C
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.7	C

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

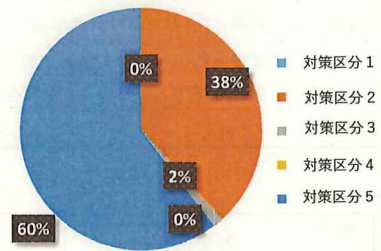
市町名	南伊勢町	三重県
人口（人）	11,461	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	6.1%	12.4%
森林面積(ha)	20,629.37	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	20,429.98	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.2	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	危険木除去事業	4,823,500	4,809,000		4,809,000				4,809,000
2	3	森林環境教育事業	179,300	179,000			179,000			179,000
3	5	阿曽浦公園ウッドチップ舗装整備事業	7,580,100	7,580,000					7,580,000	7,580,000
計			12,582,900	12,568,000	0	4,809,000	179,000	0	7,580,000	12,568,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	公共施設の周辺や通学路・避難道等の危険木の除去や、森林環境教育事業で森を大切に思う子どもの育成、住民が木材に触れながら快適に過ごすことができる空間づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出するため、県民税を活用させて頂いている。
事業実施により得られた効果	危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、森や緑の働きを知ったり触れ合うことで森と緑の大切さを理解し、将来の森林を守り続けていくことに寄与している。 阿曽浦公園ウッドチップ舗装整備事業については、町民が日常的に使用する公園をウッドチップ舗装することにより、木材に親しみ身近に感じてもらうことができている。また、区民が一堂に会する夏祭り等のイベントで使用されることにより、木や県民税を身近に感じてもらう機会となっている。
情報発信への取組	町の広報誌やHPへの掲載を行い、情報発信を行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・ウッドチップの使用と、事業内容（森林や木材、緑に対する理解や関心を深める）との関係性をわかりやすく情報発信することを検討いただければと思います。
- ・3のウッドチップはどこから調達したのか？例えば1の危険木除去事業などで出てきた材が有効活用されていたりすると良いと思う。
- ・今後とも、事業効果を高める工夫をしてほしい。
- ・3つの取組をつなぎ、地域の森林環境教育の教材となるとよいです。森林環境の問題が自分の町の課題となり、自分の町で改善策を生み出せることを学ぶことができます（ウッドチップの整備の必要性和重要性が伝わる）。住民の森林環境への意識がより高まると思う。
- ・森林環境教育の効果についてもアンケートを取るなどして、調べてほしい。
- ・ウッドチップ舗装事業に大きな金額が割かれているが、全体像を示して頂きたい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木除去事業	有効性	3.4	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.6	C
2	3. 森を育む人づくり	森林環境教育事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.6	C
3	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	阿曽浦公園ウッドチップ舗装整備事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.6	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

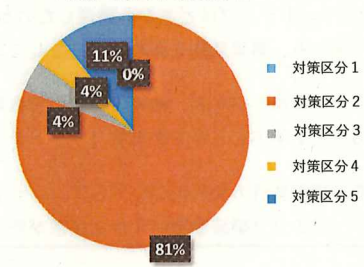
市町名	名張市	三重県
人口（人）	76,729	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	6,835.43	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	6,835.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	危険木伐採事業	5,500,000	5,500,000		5,500,000				5,500,000
2	5	森林公園等環境活用整備事業	900,000	900,000					900,000	900,000
3	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	1,368,425	1,368,425		1,368,425				1,368,425
4	2	人家裏危険木伐採事業	2,440,000	2,440,000		2,440,000				2,440,000
5	4	学校林整備事業	500,000	500,000				500,000		500,000
6	3	森林環境教育推進事業	100,000	100,000			100,000			100,000
7	5	桜並木保全管理事業	300,000	300,000					300,000	300,000
8	3	みて・さわって・森のわくわく体験事業	396,000	396,000			396,000			396,000
9	-	みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	781,575	0						781,575
計			12,286,000	11,504,425	0	9,308,425	496,000	500,000	1,200,000	12,286,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	10.94	3,960,000	3,960,000	
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	名張市では「暮らしに身近な森林づくり」に優先的に取り組み、市民が安全に生活を送れるように、道路沿いなどで繁茂している木々の伐採や、人家裏にあって倒木の恐れのある危険木の伐採費用を補助することによって、生活環境の向上を図っています。また、児童の森林環境教育を積極的に推進しており、地域の自然を大切に身近な森林環境をつくるボランティア団体の活動を支援することで、保育・幼稚園児～小学生が森林や緑を楽しむ環境を整備しています。
事業実施により得られた効果	「災害に強い森林づくり」に沿った事業を実施するまでは、あまり手入れをされることなく放置され、市民の生活圏を脅かしていた森林が整備されたことにより、市民がより安心して暮らせるようになった。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」に沿った事業の実施により、森林への関心が高まる昨今において、森林環境教育を推進し、次代を担う子どもたちが森林や緑に対する関心を深めることで森林の重要な役割に気付くきっかけづくりとなった。
情報発信への取組	事業内容やその成果については広報誌及びHP、ラジオ放送により、広く市民に周知している。また、事業実施現場にはのぼり旗や看板を設置することで、みえ森と緑の県民税の存在を最大限周知できるよう努めた。保育・幼稚園、小学校関連の事業については、保護者だより等で事業実施を周知に財源にはみえ森と緑の県民税が活用されていることを記載した。 ほかに、秋の農産物等イベント（とれたて!なばり2019）で、三重森づくりサポートセンターや三重県伊賀農林事務所とともに、木育ブース・木製おもちゃ体験の実施、みえ森と緑の県民税に関するパネル展示やみえ森と緑の県民税に関するアンケート等を実施し、名張市役所庁舎内で、みえ森と緑の県民税に関するパネル展示をし、県民税の周知に努めた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・学校林整備において、児童への効果などを検証することを検討いただければと思います。
- ・意欲的に取り組まれていると評価する。なるべく住民主体の事業になるように工夫されているのは良い。
- ・引き続き、地域の方たちの主体的で持続的な取り組みを促すような施策を、考えていってほしい。
- ・危険の回避、森林資源を活用した環境整備、バイオマスエネルギーや学校林の整備といった利用、住民と森林を近しくする取組（桜並木保全、体験学習）など、多様な取組が実施されており、今後、いかに面としてつなぎ、名張市一帯としての取組として拡大し、地域住民に伝えていくかの工夫に期待しています。
- ・環境教育の場合、児童への教育効果を調査してほしい。
- ・危険木の事業に大きな金額が割かれているが森林環境教育の内容が充実していることを評価したい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木伐採事業	有効性	3.2	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B
2	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林公園等環境活用整備事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.0	B
3	2. 暮らしに身近な森林づくり	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B
4	2. 暮らしに身近な森林づくり	人家裏危険木伐採事業	有効性	3.2	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B
5	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	学校林整備事業	有効性	3.7	A
			効率性	3.0	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B
6	3. 森を育む人づくり	森林環境教育推進事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	3.0	B
7	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	桜並木保全管理事業	有効性	3.0	B
			効率性	2.8	C
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.0	B
8	3. 森を育む人づくり	みて・さわって・森のわくわく体験事業	有効性	3.2	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.0	B

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

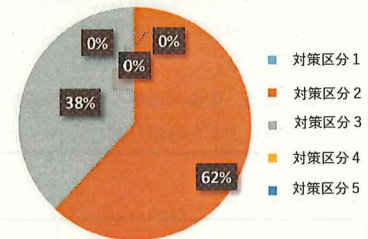
市町名	伊賀市	三重県
人口（人）	87,416	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	11.4%	12.4%
森林面積(ha)	33,951.95	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	32,598.85	348,833.49
森林率(%)	61.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.9	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	3	親子ではじめる木育推進事業	2,330,440	2,330,440			2,330,440			2,330,440
2	2	みんなの里山整備活動推進事業	6,071,000	6,071,000		6,071,000				6,071,000
3	3	伊賀の森っこ育成推進事業	2,391,952	2,391,952			2,391,952			2,391,952
4	3	地域の森と緑のつながり支援事業	800,000	800,000			800,000			800,000
5	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3,882,925	3,882,925		3,882,925				3,882,925
6	3	森のやすらぎ空間整備事業 (伊賀の木活用人材育成)	577,867	577,867			577,867			577,867
7	-	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,553,816	0						5,553,816
計			21,608,000	16,054,184	0	9,953,925	6,100,259	0	0	21,608,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	67.34	19,987,000	19,987,000	現地調査及び調整伐等
森林再生力強化対策事業	—	—	—	—

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	当市の森林面積率は、61%であり、周囲が森林に囲まれた立地にある。そのような背景を踏まえ、災害に強い森林づくりと住民全体で森林を支える仕組みづくりの両立を図るため、暮らしに身近な森林を住民自らの手で整備する事業を推進しているとともに、木育を始めとして森林や緑を大切に思う人づくりに繋がる教育活動を支援する事業を推進している。
事業実施により得られた効果	みんなの里山整備活動推進事業では、事業を通して地域の山林として位置づけることで、維持管理する方向性が地区等で広がっている。未利用間伐材バイオマス利用推進事業においても、木材搬出量が年々増加傾向にあり、森林所有者が間伐作業へ携わる機会の増大に貢献している。木育関連事業で実施したアンケートでは、木のぬくもりの良さについて回答する意見も見受けられ、森林の持つ重要性についての周知が進んでいる。
情報発信への取組	市民全体に周知を行うため、市内で放映されるCATV（伊賀上野ケーブルテレビ）を活用して、「みえ森と緑の県民税」の目的や必要性を周知した。伊賀市では、木育から森林整備まで幅広く事業展開している市町交付金事業の全事業について紹介し、中でも、「森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）」の紹介では、生徒がプレゼンテーションしている様子の写真や完成品の写真、配置箇所等を説明し、県民税を身近に感じられる内容で周知した。また、市内の農産物等イベント（菜のはなまつり、海の幸・山の幸 物産まつり等）では、三重森づくりサポートセンターや三重県伊賀農林事務所とともに、木育ブースの展示・おもちゃ体験の実施や、みえ森と緑の県民税に関するアンケート等を実施したほか、伊賀市役所庁舎内では、みえ森と緑の県民税に関するパネル展示をし、県民税の周知に努めた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・森を育む人づくりでは、新生児から中学生をはじめ、幅広い年齢層に事業を展開されていることは評価できます。
- ・意欲的に取り組まれていると評価できる。なるべく住民を巻き込む取り組みとしている点がよいと思う。
- ・引き続き、地域の方たちの主体的で持続的な取り組みを促すような施策を、考えてほしい。
- ・子どもの誕生から、市内全域での里山活動、市内小学校での森林環境学習、バイオマスエネルギー利用、イベントでの周知、高校生と連携した活動など、森林環境の保全と利用の多岐にわたる取組を先進的に行われています。今後、新しい主体との連携や、現状関係性のある主体間のコラボレーション等を行い、より効果的で市民が参加しやすい取組への発展を期待します。
- ・情報発信度について、さまざまな媒体を活用している点、またみえ森と緑の県民税についてアンケートなどを実施している点が評価できた。
- ・行政チャンネルでの放映による情報発信は地域住民に広く周知できる。
- ・伊賀市の取り組みは、生まれたばかりの子供から児童学生、市民一般に、また観光客にも周知を工夫しておられ他の市町でも紹介できる事例多く評価します。
- ・木育や森林環境教育事業は素晴らしい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	親子ではじめる木育推進事業	有効性	3.5	A
			効率性	3.1	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.3	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	みんなの里山整備活動推進事業	有効性	3.5	A
			効率性	3.2	B
			公益性	3.5	A
			情報発信度	3.0	B
3	3. 森を育む人づくり	伊賀の森っこ育成推進事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.3	B
4	3. 森を育む人づくり	地域の森と緑のつながり支援事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.3	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.1	B
5	2. 暮らしに身近な森林づくり	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.0	B
6	3. 森を育む人づくり	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	有効性	3.7	A
			効率性	3.4	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.2	B

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

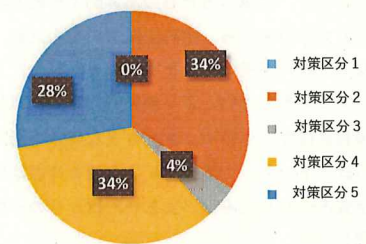
市町名	尾鷲市	三重県
人口（人）	16,567	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	9.1%	12.4%
森林面積(ha)	17,703.01	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	14,933.86	348,833.49
森林率(%)	92.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	6.0	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	学校危険木除去事業	2,498,029	2,498,029		2,498,029				2,498,029
2	2	人家裏危険木伐採事業	979,000	979,000		979,000				979,000
3	5	中村山公園整備事業	2,860,000	2,860,000					2,860,000	2,860,000
4	3	クッ普及推進事業	471,199	471,199			471,199			471,199
5	4	木とふれあう学校環境づくり事業	2,395,160	2,395,160				2,395,160		2,395,160
6	4	木とふれあう木育活動推進事業	1,100,000	1,100,000				1,100,000		1,100,000
7		みえ森と緑の県民税基金積立	788,612	0						788,612
計			11,092,000	10,303,388	0	3,477,029	471,199	3,495,160	2,860,000	11,092,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業	1,101(m)	677,213	677,213	獣害防止施設等整備

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	近年の災害による被害が拡大傾向にあることから、災害に強い森林づくりは大変重要なものと考えている。また、危険木を伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用する方法を考え、防災と森林教育の観点から事業の選定と実施している。
事業実施により得られた効果	小中学校内や人家裏、公園の危険木伐採は、災害に強い町づくりに一定の効果が得られたと考えている。この点については、事業実施にあたっての住民の反応等を見ても、好意的な意見であった点からも、安心安全の確保に十分な効果が得られたと感じている。 木製遊具の設置や伐採した危険木の再利用については、木の温もりに触れる機会を提供することで木育に繋げつつ、小学校については、木工体験や森林に関する説明を聴く機会を設けることで、木の循環について学ぶことが出来たと思う。
情報発信への取組	木とふれあう学校環境づくり事業については、県民税当初から実施されていることから多くのマスコミにも来ていただいております、体験の場をそのまま情報発信の場として活用した。また、学校だよりへの掲載等、他の保護者にも知っていただけるようにした。 また、その他の事業についても、市の広報誌やホームページ、公園への看板設置等により広く住民にPRを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・地元林業の説明からマイ機の製作まで、一連の事業内容は効果的で評価できます。
- ・必要な事業について取り組まれていると評価する。特に1は危険木除去と学習、伐採後の樹木の活用まで組み合わせて事業効果を高めている点が良い。
- ・学校の危険木の伐採と伐採した木の利用、地域の危険木の伐採、公園の整備と伐採した木を使っての子ども達の体験、保育園の三重県材を使った備品やマイ機、そしてクップ。全ての取組をつなげて、市民に伝える工夫があるといいです。木と人のつながりをどう見せていくか、を伝えていただきたいです。それぞれの取組に工夫があって、その工夫の共通な価値も伝えていただきたいです。
- ・木のぬくもりを感じられる机や椅子を自分で作成するというアイデアは革新的でした。他の地域もぜひ活用してもらいたい。
- ・人家裏危険木伐採事業の補助率を設定することは、自治会等での実施後の管理等を継続させることには良い方法だと思う。
- ・事業実施後の配布チラシやアンケート調査実施は今後の事業実施のためにも必要であり良いことである。
- ・『クップ』の普及は良いのですが、この県民税の使われ方には疑問です。
- ・明細書がわかりやすい。他の市町は参考にすべきである。
- ・危険木を活用したり、机椅子の導入と森林体験学習を組み焦る事業はすばらしいと感じた。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	学校危険木除去事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	2.9	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	人家裏危険木伐採事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.0	B
3	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	中村山公園整備事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	3.0	B
4	3. 森を育む人づくり	クップ普及推進事業	有効性	3.2	B
			効率性	2.9	B
			公益性	2.9	B
			情報発信度	2.9	B
5	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	木とふれあう学校環境づくり事業	有効性	3.7	A
			効率性	3.2	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.4	B
6	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	木とふれあう木育活動推進事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

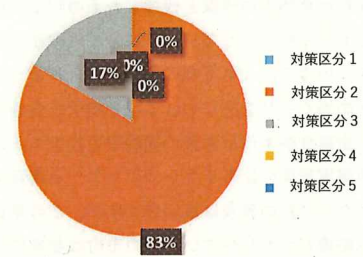
市町名	紀北町	三重県
人口（人）	15,046	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	8.5%	12.4%
森林面積(ha)	22,934.39	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	18,009.40	348,833.49
森林率(%)	89.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	41.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）						内当年度交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	2	危険木伐採事業	4,281,820	4,081,000		4,081,000				4,081,000
2	2	集落周辺森林（里山）整備事業	192,455	174,000		174,000				174,000
3	3	県民植樹活動事業	870,000	850,000			850,000			850,000
		みえ森と緑の県民税基金積立	6,904,000	0						6,904,000
										0
										0
計			12,248,275	5,105,000	0	4,255,000	850,000	0	0	12,009,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業	2,503(m)	4,203,996	1,681,816	鳥獣害防護柵新設・補修

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	町民の安全・安心を守る暮らしに身近な森林づくりと、時代を担う子どもたちへの森林の大切さを学ぶ機会の創出。
事業実施により得られた効果	危険木伐採等の森林管理の意識の向上が見られ、補助金活用の要望が増加した。 植樹活動によって森林や林業についての関心が高まったと考えられる。
情報発信への取組	地元新聞にて県民植樹活動事業について、開催内容の情報発信を行った。 事業全体については、今後町民を対象とした行政懇談会等で情報発信を行う。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・必要な事業が行われていると思う。
- ・町で実施されている3の取組のつながりを作ると、どの取組も「人と森林の関係性」を示すことが出来るので、工夫して住民に伝えられるとよいです。特に植樹の活動では、森林環境を包括的に体験・学習できるとよいです。
- ・情報発信度については、看板設置だけではなく、他の媒体も活用してほしい。
- ・事業の明細書は分かりやすく詳細に記入されていた。
- ・2の事業は他地域に比べてもかなり低額である。自主的に活動しているNPOであってもそれなりの対価は支払うべきであると感じた。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木伐採事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.4	C
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	集落周辺森林（里山）整備事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	2.5	C
3	3. 森を育む人づくり	県民植樹活動事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.4	B

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

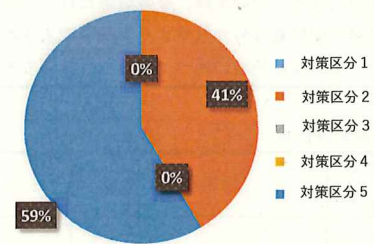
市町名	熊野市	三重県
人口（人）	16,113	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	9.9%	12.4%
森林面積(ha)	32,935.18	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	29,621.62	348,833.49
森林率(%)	88.0%	64.0%
都市公園面積(㎡/人口)＊3	9.8	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)						内当年度交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	2	身近なみどり整備推進事業	128,000	128,000		128,000				128,000
2	2	暮らしを守る危険木伐採事業	3,029,400	3,029,400		3,029,400				3,029,400
3	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	6,733,100	6,733,100					6,733,100	6,733,100
4	2	森林病虫害防除実施事業	1,611,000	1,611,000		1,611,000				1,611,000
5		みえ森と緑の県民税基金積立	4,456,500	0						4,456,500
計			15,958,000	11,501,500	0	4,768,400	0	0	6,733,100	15,958,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	9.31ha	5,394,000	5,394,000	山腹崩壊抑制のための森林整備
森林再生力強化対策事業	14.18m	3,259,873	3,259,873	獣害防止施設等に対する一部補助

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	森林環境譲与税を財源とした森林施策とのすみ分けを行いながら、市の主要な森林施策を展開していくための財源としてみえ森と緑の県民税を活用していく。
事業実施により得られた効果	市が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業によって市民だけではなく、市への来訪者も直接的な恩恵を受けている。
情報発信への取組	事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、広い市域の中にあって事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、市の玄関口であるJR熊野市駅や市街地に近い市文化交流センターにおいて例年パネル展示を行っている。

＊評価の参考として、別紙「森林環境譲与税事業の実績」を添付すること。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・必要な事業が行われていると思う。クマノザクラについては、獣害からの防護をしっかりと取り組んでほしい。
- ・それぞれの事業について、より効果が高められるよう工夫してほしい。
- ・危険木の除去、伐採、病害虫の駆除といった取組が主ですが、その取組が住民や住民の暮らし、地域にどういった影響があるのかを上手く伝えられるとよいです。森林公園の整備やクマザクラの植栽の取組のなかで、森林環境の課題や森林環境の保全・利用についても伝えられるとよいです。
- ・情報発信度については、パネル展示をおこなうなど工夫している点が評価できた。
- ・報告書の記載からでは地域住民等との連携が希薄に感じる。
- ・熊野市も林業の盛んな地域であるが、その特徴を活かした事業があまりないように感じた。
- ・素材生産が盛んで原木市場もあり、内装材を中止とした工場では木育の取り組みが進んでいる。そうした方と連携した事業で地域の資源を活かせるような取り組みを期待したい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	身近なみどり整備推進事業	有効性	3.0	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	暮らしを守る危険木伐採事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
3	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	森とのふれあいの場拠点づくり事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	2.9	B
4	2. 暮らしに身近な森林づくり	森林病害虫等防除実施事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B

第 16 号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

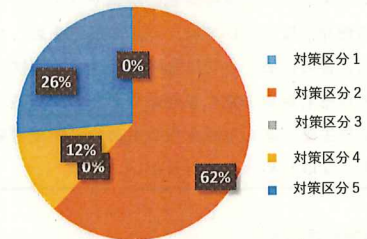
市町名	御浜町	三重県
人口（人）	8,200	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	11.0％	12.4％
森林面積(ha)	5,691.76	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	5,598.49	348,833.49
森林率(％)	65.0％	64.0％
都市公園面積（㎡/人口）＊3	20.4	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	5	森林公園等環境整備事業	1,122,000	1,122,000					1,122,000	1,122,000
2	2	危険木等除去事業	2,640,000	2,640,000		2,640,000				2,640,000
3	4	学校施設木質化事業	495,000	495,000				495,000		495,000
4		基金積立事業	3,153,000	0						3,153,000
5				0						0
6				0						0
7				0						0
計			7,410,000	4,257,000	0	2,640,000	0	495,000	1,122,000	7,410,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	森林環境譲与税を財源とした森林施策とのすみ分けを行いながら、町の主要な森林施策を展開していくための財源としてみえ森と緑の県民税を活用していく。
事業実施により得られた効果	町が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業によって町民だけではなく、町への来訪者も直接的な恩恵を受けている。
情報発信への取組	事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、役場において例年パネル展示を行っている。また、各種イベントや行事を通じて県民税のPRを行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・木質化事業について、木の良さを伝えるだけでなく、木を生産する森林、林業との関係を児童、生徒、教職員の方々に情報発信していただければと思います。
- ・必要な事業が行われていると思う。
- ・各事業の情報発信も、この委員会への実績書の提出も、「伝える」ということへの意識をより高めていただけると良いのではないかと感じた。
- ・公園の整備、危険木の除去、施設の木質化の取組が、町民にバラバラに伝わるのではなく、いかに地域の森林環境を保全・利用していくか、森林と共生していくか、という視点で伝えられるとよいです。
- ・情報発信度については、パネル展示をおこなうなど工夫している点が評価できた。
- ・基金積み立ての使い方を示して頂くと良いと感じた。広報にもう少し力を入れて頂きたい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林公園等環境整備事業	有効性	3.0	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.7	C
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木等除去事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.7	C
3	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	学校施設木質化事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.7	C

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

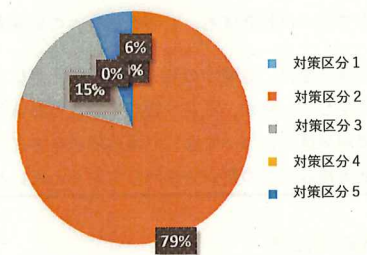
市町名	紀宝町	三重県
人口（人）	10,588	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	11.8%	12.4%
森林面積(ha)	6,073.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	6,027.34	348,833.49
森林率(%)	76.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7.6	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）						内当年度 交付金額
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	3	森と緑の環境教育事業	1,000,000	1,000,000			1,000,000			1,000,000
2	2	生活環境林整備事業	5,309,783	5,309,743		5,309,743				5,309,743
3	5	クマノザクラ整備事業	390,830	390,830					390,830	390,830
4		基金積立事業	1,012,427	0						1,012,427
5				0						0
6				0						0
7				0						0
計			7,713,040	6,700,573	0	5,309,743	1,000,000	0	390,830	7,713,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	18.28	8,640,500	8,640,000	山腹崩壊抑制のための森林整備
森林再生力強化対策事業				

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	森林環境譲与税を財源とした森林施策とのすみ分けを行いながら、町の主要な森林施策を展開していくための財源としてみえ森と緑の県民税を活用していく。
事業実施により得られた効果	町が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業によって町民だけではなく、町への来訪者も直接的な恩恵を受けている。
情報発信への取組	事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、役場において例年パネル展示を行っている。また、各種イベントや行事を通じて県民税のPRを行っている。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・1については、参加対象者、参加者数なども教えてほしい。
- ・地域性の高いクマノザクラの整備、緑地の整備や危険木の伐採等の管理、町民を対象にしたワークショップや講演会等に取り組まれているが、森林（資源）との共生という観点で、町のそれぞれの取組がつながり、町民にうまく伝わるとよいです。
- ・情報発信度については、パネル展示をおこなうなど工夫している点が評価できた。
- ・環境教育事業は毎年にぎわっている様子がよく分かる。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	森と緑の環境教育事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	生活環境林整備事業	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.8	C
3	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	クマノザクラ整備事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.8	C

